消 防 予 第 1 9 7 号
昭 和 4 8 年 1 2 月 2 5 日

都道府県消防主管部長 殿

消防庁予防課長

容器によるガソリンの運搬について

給油取扱所等における火災の予防については、日頃から努力されているところであるが、最近のガソリン不足に伴い予備燃料のガソリンを収納した容器を自動車に積載し、走行する傾向がみられる。

このような状況にかんがみ、容器によるガソリンの運搬について関係団体に対し別添のとおり依頼したので貴職におかれてもこの趣旨にのっとり、関係団体又は給油取扱所等に対し御指導願うとともに、管下市町村に対してもこの旨よろしく御指導願いたい。

別添

消 防 予 第 1 9 6 号
昭和48年12月25日

石油連盟会長、全国石油商業組合連合会会長 殿

消防庁予防課長

容器によるガソリンの運搬について

最近の石油事情の悪化にかんがみガソリンの消費を抑制するための措置としていわゆるガソリンスタンドの日曜、休日の休業などが行われているところであるが、このため、マイカーを始めとする自動車が、ガソリンをポリエチレン製などの容器に収納し、乗用車のトランクなどに入れ、運搬する傾向が見受けられます。

もちろん、ガソリン等の危険物の運搬については、消防法令により、容器、収納方法、運搬方法等が規制されていますので、これらの規制に従うことは当然ですが、乗用車のトランク等にポリエチレン容器などにガソリンを入れて運搬することは、追突等により予測しない事故が発生した場合に危険な状態になることが予想されます。従って、給油取扱所等においてガソリンを販売する場合、自動車の運転者等に対して、できるだけ予備燃料を容器で携行しないようにすること等の注意及びやむを得ず携行するときは、十分衝撃にたえられるような丈夫な缶を用いること、衝突などのとき容器が損傷しないような保護措置をすることなどの指導について、効果ある方法をとられるようお願いいたします。

ついては、以上の趣旨を会員に対し十分周知徹底を図られるようお願いいたします。